

TOPICS 【前市議会議員 若尾きみえの政策と市政報告】

- I. 高齢者の安心をつくり、若い世代を負の連鎖に巻き込まない医療・介護保険制度に！
- II. ストップ！税金の無駄遣い 館(たて)清掃工場の建て替え計画は見直しを！

つなぐ・育てる。人・まち・未来

わかお
若尾きみえ



<http://wakaokimie.jp>
 若尾きみえ 検索

子育てを経験し、高齢者のこともわかるミドル世代からの発信

落選後4年間の地域活動を通して痛感してきたのは、社会環境が大きく変わっているのに、制度が追いついていないことから、高齢者も若い世代も不安を感じていることです。高齢者福祉と子育て支援は両輪です。行政の縦割りを改め、生活の目線で、10年後50年後を見据えた安心の福祉と、生涯元気を応援するまちづくりをみなさんと一緒に進めていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



前市議会議員 若尾きみえの

政策と市政報告

I 高齢者の安心をつくり、若い世代を負の連鎖に巻き込まない医療・介護保険制度に！

① 超高齢化社会が進展する中、介護の社会化は急務

▶ 核家族化が進む中、夫婦が高齢になれば、いずれかがお一人様の老後を迎えることとなります。老々介護、離れて暮らす親の介護、すべて大変ですが、特に問題なのは、親御さんの介護で介護離職をする人が増えてきていることです。介護離職になると介護でお金を使う上に、離職で子世代の収入が減り、将来的な年金の減少など、子世代に負の連鎖が起きていきます。
 ▶ 結婚していない単身者が増えています。また、子育てと介護が同時に発生する人もいます。家族の存在が前提と

なっている医療・介護保険制度から、一人暮らしを前提にした介護サービスへと充実を図り、介護の社会化をしていくことが必要です。

▶ 団塊の世代が後期高齢者を迎える2025年問題や認知症患者の増加など、近い将来の課題も見据え、住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせる医療・介護保険制度へと充実を図ることは急務です。



② 地域包括ケアは市民の自主性と発想を生かす形で

▶ 国の介護保険制度の改正で示している地域包括ケアでは、市民発の地域づくり、地域包括ケアになるのか、住民が行政の下請けになってしまうのか、これからが勝負です。認知症患者も増えています。市民主体で支え合う安心のまちづくりが実現できるよう発信していきます。
 ▶ 国は特別養護老人ホームの設置抑制や利用抑制をしていく方針ですが、安易な利用抑制は、介護保険制度の崩壊と

要介護者・家族の生活の困難を招きます。

介護保険事業の責任者は八王子市であり、今後中核市移行で、特別養護老人ホームの設置や国が進めているサービス付き高齢者住宅の設置の許認可権限を市が持つこととなります。得られた権限を有効に活用し、必要な人がサービスをしっかり受けられる介護保険制度や地域包括ケアを実現するために発信していきます。